

初診患者における受診理由の重要性

西宮市・伊賀内科・循環器科 伊賀 幹二（医師）

大病院では、特定の疾患に対していかに良質な治療を施すかが課題です。しかし、患者が最初に受診する診療所では、患者がなぜ受診したかを医療側が理解することは重要なことです。時には患者自身もそれに自覚していないこともあります。医学的にはそれを解釈モデルといいます。長年高血圧を指摘されていたのに今回初めて受診した45歳男性、血圧計で測定された高度徐脈を気にして受診した37歳女性を提示し、受診の背景にせまることがいかに重要であるかを議論したいと思います。